

Q. 介護支援ボランティアポイント制度の導入検討を

A. 介護予防事業を通じボランティアの育成・活動支援に努める



今村 一正 議員



ボランティアで介護支援

Q 介護保険制度が改正されて5年が経過した。来年度から第5期介護保険事業計画が始まる。団塊世代の高齢化により介護保険会計はますます厳しくなる。ボランティアポイント制度は、高齢者の社会参加を促し介護予防につなげ、保険料・給付費の抑制に効果がある。今こそ、この制度の導入にむけて検討を開始して

いただきたい。
そこで以下の点を聞く。

A ①65歳以上の大幅な増加に対して、

要支援・要介護者平均出現率が国・県水準以下に抑制できたこと、毎年の新規要支援・要介護認定者数の大幅な増加を抑制できたことが成果と考えている。

②介護支援ボランティアの育成・活動支援に努める。

③新たに介護予防・日常生活支援総合事業としてこの制度導入の受け皿ができたが、現段階では継続的に提供できる社会参加機会や活動の場を確保することが困難な状況にあると考えている。

①過去5年間に実施した介護予防事業の検証結果と、今後の取組を聞く。
②この制度の目的を認識して、導入に向けてまず検討開始をとの提案について見解を聞く。
③第5期介護保険事業計画の進み具合と、日常生活支援総合事業の取扱いについて見解を聞く。

要支援・要介護者平均出現率が国・県水準以下に抑制できたこと、毎年の新規要支援・要介護認定者数の大幅な増加を抑制できたことが成果と考えている。

②介護支援ボランティアの育成・活動支援に努める。

③新たに介護予防・日常生活支援総合事業としてこの制度導入の受け皿ができたが、現段階では継続的に提供できる社会参加機会や活動の場を確保することが困難な状況にあると考えている。

②介護支援ボランティアの育成・活動支援に努める。

③新たに介護予防・日常生活支援総合事業としてこの制度導入の受け皿ができたが、現段階では継続的に提供できる社会参加機会や活動の場を確保することが困難な状況にあると考えている。